

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 地方港湾 大竹港（小方地区）再編計画に係る調査業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 港湾 構造物基礎

ボーリング名	No.14	調査位置	広島県大竹市小方一丁目地先	北緯	34° 14' 05.4786"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所		調査期間	令和5年11月 7日～ 令和5年11月 8日	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP -9.30m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	23.00m	度	鉛直 0° 90°	使用機種	東邦地下工機D1-B
			エンジン	ヤンマーディゼルNFD-10	ポンプ
			東邦地下工機BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記号	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内試験	削孔月日			
												深度 (m)	N値	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深さ				試料採取番号	採取方法	
1				砂混り粘土		暗緑灰				非常に軟らかい粘土である。含水多し、均質であり、粘性は中位～強い。貝殻片も多く混入する。GL-2.50～2.80m付近、細粒2～5mm程度を少量混入し、細砂層を薄く挟む。		0	1.00	0	0	500	1.00	P-1	⊖	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界			
2						暗緑灰						1.50	1.50			1.50	2.00	T-1-1	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界			
3	-12.60	3.30		シルト混り砂		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂で、中砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度の亜角礫を混入する。細粒分も多く混入する。貝殻片も多く混入する。GL-5.00m付近、細粒分の含有がほとんどない。		3.00	3.00	0	500	2.60	2.60	T-1-2	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界			
4				砂礫		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体で、礫は2～5mm程度が混入する。最大は20～30mm程度である。		4.15	4.15	2	2	6	300	4.15	P-3	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度		
5	-15.00	5.70		粘土混り砂		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入する。最大は20～30mm程度である。		4.45	4.45	5	4	6	15	300	4.45	P-4	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度	
6	-16.20	6.90		砂礫		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体で、礫は2～5mm程度が混入する。最大は20～30mm程度である。		5.15	5.15	8	15	12	35	300	5.15	P-5	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度	
7	-17.10	7.80		粘土混り砂		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入する。最大は20～30mm程度である。		6.45	6.45	6	7	9	22	300	6.45	P-6	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
8	-17.90	8.80		砂混り砂		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入する。最大は20～30mm程度である。		7.15	7.15	5	6	12	23	300	7.15	P-7	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度	
9	-19.30	10.00		砂礫		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入する。最大は20～30mm程度である。		8.15	8.15	11	11	10	32	300	8.15	P-8	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度	
10	-19.80	10.50		粘土混り砂		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入する。最大は20～30mm程度である。		9.45	9.45	1	1	2	200	300	9.45	P-9	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
11	-20.90	11.60		礫質砂		淡緑灰 rd5				非常に軟らかい粘土で若干の砂分あり。腐植物を混入する。礫は2～5mm程度が混入する。砂は細砂～粗砂が主体で、礫は2～10mm程度が混入し、未風化の花崗岩の礫も混入する。		10.15	10.15	12	15	23	50	300	10.15	P-10	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度	
12	-22.00	12.70		粘土混り砂		淡緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。部分的にマサ状の岩組織あり。		11.15	11.15	8	8	7	23	300	11.15	P-11	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度	
13	-23.00	13.70		粘土混り砂		淡緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入し、細粒分も多く混入する。		12.15	12.15	3	8	12	23	300	12.15	P-12	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
14	-24.00	14.70		砂混り粘土		暗緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入し、細粒分も多く混入する。		13.15	13.15	2	2	3	7	300	13.15	P-13	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
15						青灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。細粒分も多く混入する。		14.15	14.15	3	4	4	11	300	14.15	P-14	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
16				粘土混り砂		淡緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度の亜角礫を多く混入する。かなり風化し、花崗岩が土砂化・粘土化している。		15.15	15.15	2	3	3	8	300	15.15	P-15	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
17						淡緑灰 rd3				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度の亜角礫を多く混入する。かなり風化し、花崗岩が土砂化・粘土化している。		16.15	16.15	3	4	4	11	300	16.15	P-16	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
18	-27.60	18.30		砂質砂		黄茶褐灰 rd5				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入する。GL-19.00m以深、細粒分の含有が多くなる。		17.15	17.15	13	16	17	46	300	17.15	P-17	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
19	-28.80	19.50		砂質砂		黄茶褐灰 rd5				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入する。GL-19.00m以深、細粒分の含有が多くなる。		18.10	18.10	50	50	50	100	100	18.10	P-18	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
20	-30.30	21.00		粘土質砂礫		黄茶褐灰 rd5				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～20mm程度が混入し、最大は50mm程度。細粒分も多く混入する。部分的にマサ状のコアあり。		19.15	19.15	35	15	50	150	150	19.15	P-19	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
21						黄茶褐灰 rd5				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～20mm程度が混入し、最大は50mm程度。細粒分も多く混入する。部分的にマサ状のコアあり。		20.15	20.15	50	30	30	30	30	20.15	P-20	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
22				風化花崗岩		淡灰 rd5				風化した花崗岩で、マサ状を呈する。		21.18	21.18	50	50	50	50	50	21.18	P-21	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
23	-32.30	23.00				黄茶褐灰 rd5				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入し、細粒分も多く混入する。		22.10	22.10	50	50	50	50	50	22.10	P-22	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	
24						黄茶褐灰 rd5				砂は細砂～粗砂が主体である。礫は2～5mm程度が混入し、細粒分も多く混入する。		23.05	23.05	50	50	50	50	50	23.05	P-23	⊕	土粒子密度、自然含水比、粒度 液性限界、塑性限界	